

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和62年6月8日 第11報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群本数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	40		
(黄鞭) <i>Chrysoamoeba radians</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	620	◎	◎
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	40		
(珪) <i>Synedra acus</i>	240		○
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas erosa</i>	60		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	320	○	
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	40	2.6	3.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	1.3	0.3
(珪) 珪藻綱	960	62.3	66.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	2.6	2.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	140	9.1	9.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	340	22.1	19.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1540	総体積 (μm ³) 2.62E+06	
種類数	12		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群本数(群本/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
計測的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	620

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	320

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

1胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。